

あなたの願い叶え隊

- 第33回 -



様

88歳

様はとても穏やかで、ラジオをこよなく愛されています。毎朝、私たち職員がバイタル計測のために居室を訪れると、ラジオから流れる心地よい音楽や語りが部屋を包み込み、その独特の雰囲気にも私たちも癒されています。

そんな 様には、食堂でよくお話しされるご友人がいらっしゃいます。ある日、誕生日が近づいてきたこともあり、会話の中でご友人から「私はお寿司を食べに行き、すごくよかったよ!」というお話を聞かれたそうです。その言葉が心に残ったようで、「私も外出の時はお寿司を食べに行きたいです」と、静かに、でも嬉しそうに教えてくださいました。

外出当日は、雲ひとつない晴天。久しぶりのドライブに「どのくらいぶりに外に出るかな…」と窓の外を眺めながら、少し照れたような笑顔を見せてくださいました。車内では付き添いの職員と穏やかな雑談を交えながら「お寿司なんて、ずっと食べてないからうれしいです」と、期待に胸を膨らませておられました。

栄寿司に到着すると、カウンターには予約席が用意されており、まるで誕生日を祝う舞台のような雰囲気。職人さんが笑顔で声をかけてくださり、店内はとても居心地の良い空気に包まれていました。お寿司を待つ間、福富様はふと昔の思い出を語り始められました。「栄寿司には、お父さん（ご主人様）と20年ほど前に来たことがあるんです。お父さんは釣りが大好きでね…」と懐かしそうに話されるその表情には、時を超えた温かさが感じられました。待ち時間のあいだ、職員との会話も自然と弾みました。普段はなかなかゆっくり話す時間が取れない中、この日は特別なひととき。

様は、ゆったりと流れる時間の中で、職員との会話を心から楽しんでおられるようでした。

そして、待望のお寿司が目の前に並ぶと、「きれいですね」と目を細め、ひと口運ぶたびに「美味しい」と優しく感想を伝えてくださいました。その姿は、まるで季節の風景を味わうように、ひとつひとつの瞬間を丁寧に楽しんでいるようでした。

今回の外出は、 様にとって思い出深い誕生日のひとときとなり、私たち職員にとっても、 様とゆっくりお話しできて心温まる時間となりました。施設に戻られると「今日は美味しいお寿司に連れて行ってくださりありがとうございます。来年の誕生日も元気でいられるようにしないとですね」と笑顔で話してくださいました。

この特別な一日が、 様の心にそっと灯る思い出となることを、私たちは心から願っています。お寿司の味も、会話のぬくもりも、外の風のやさしさも、すべてが笑顔につながる時間でした。

そして何よりも私たちの願いは、これからも 様が健やかに、笑顔で毎日をご過ごしてくださること…その笑顔が、私たちにとって何よりの宝物です。



会話も弾む幸せなひととき



まずは一口、心もほどけるお吸い物



最高のお寿司に最高の笑顔



この笑顔が私たちの願いです

シャボン玉と一緒に
笑顔も空に舞い上がる

花も笑顔も満開です

現在3部屋の空きがあります
お問い合わせお待ちしております